

一

**問一** 個人が、消費者や労働者といった集団の一員として、統計的に取り扱われる存在に過ぎなくなっているということ。

**問二** ホテルから与えられたカードがなければ自分の部屋への入退室も階の移動も自由にならず、カードがあつても入れない部屋や立ち入れない場所があるという点で、利用者は管理されると同時に規律化されていると言えるから。

**問三** グローバリズムによる管理は、国民国家のように規律によって人間を生み出すものとは異なり、生産性の向上を目ざして人間を含めた動物を管理するための配慮を起源とするため、その非人間性を指弾するのは無意味だから。

**問四** 一人一人の女性を固有性をもつ人間として命令による規律を受けない存在と判断する一方で、子どもの数を増やすために環境の整備を通じて集団的に管理される存在として女性を位置づけてもいる以上、現代社会が同じ対象に対して規律と管理という異なる二つの判断基準を事柄に応じて別々に使い分けていることは明白だということ。

二

**問一** 広大な原爆実験の跡地は、未だに射撃物や放射能が留まり、樹木のない砂漠で動くものは見学者だけという死の荒野となっているため、せめて生きんがためにもがく生き物たちの微かな兆しを夢想せざるを得なくなっているから。

**問二** 轟音とともに広がった原子爆弾の衝撃を、抗うこともできず受け止めるしかなかった周りの自然が、最初の被爆者として強いられたその沈黙を今も保つほかないという事実が「私」に迫り、それに圧倒される心情を示す効果。

**問三** 被爆したのは人間だけではないと痛感したことで、被爆者としてのこわばった意識が解かれ、直面することを避け自らの内に抑え込んでいた被爆体験そのものにあらためて向き合い、それを受け止めることになったから。

**問四** 半世紀も前の遺物にも高い放射能を残留させる原子爆弾の力に思わず驚嘆する人間の姿は、生き残った者にも半永久的にその放射能の影響を及ぼす原爆の惨禍を、あまりに容易に忘れ去る人間の愚かさを象徴していたから。

目

問一 車づくりが多く的心得を人に言葉で教えられないように、和歌についても、感慨を言葉で表すことができないので、心では和歌の良し悪しを理解している歌人であっても、感慨を他者に伝えることができない。

問二 管弦において巧みに演奏することと、演奏を構成している楽器それぞれの音を聞きわけける能力が異なるように、和歌についても、みごとに詠んでも、詠まれた核心となる感慨を理解していない人が多いということ。

問三 自分の心で感覚的に良い和歌だなどと思うこともあるだろうけれども、それだけでは和歌を理解していないのと同じだ。

問四 和歌は詠み手自身の感慨から詠まれるものだが、その感慨の表しかたは言葉で説明することができないし、万葉集や古今集の歌語はその時代の歌人による用いかたや言葉の続けたことによって感慨を表したもので、万葉集や古今集に詠まれた歌語をまねしても詠み手の思いは伝わらないから。

㉞

問一 (a) まさにゆかんとす。  
(b) おさまるゆえん

問二 鳥や獣でさえも同類に危害を加えることを忌み嫌うものである、ましてや徳の高い立派な人物であればなおさら言うまでもないことである。

問三 世の中に道徳が行われていれば、世に出て活躍するが、道徳が行われていなければ、姿をくらまして世のために働かない。

問四 国に徳のある正しい政治が行われていないのに、富を手に入れ高い地位につくのは、不義不正に荷担していることに他ならないので、君子としては恥ずべきことであるということ。

問五 趙により政治が行われていたのは、賢者の竇鳴犢の力が大きかったのだが、趙簡子が鳴犢を殺したことによって、趙は道義が失われて危険な国であると気づいたので、君子たる者が仕えるべきではないと考えたから。